

## 運用報告書(全体版)

## 農業・食糧関連オープン

【2015年3月5日決算】

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の「農業・食糧関連オープン」は、2015年3月5日に第4期決算を迎えましたので期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	2011年3月31日から2021年3月5日までです。	
運用方針	マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の農業・食糧関連の企業の株式（DR（預託証券）、株式の値動きに価格が連動する債券を含みます。）およびブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に実質的に投資します。	
主要投資対象	当ファンド	農業・食糧関連株マザーファンドおよびアグリカルチャー・インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	農業・食糧関連株マザーファンド	日本を含む世界の取引所上場の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。	
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	農業・食糧関連株マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	毎年3月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準 価 額			株 組 入 比	式 率	債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
(設定日) 2011年3月31日	円 10,000		円 —		% —	% —	% —	百万円 3,544	
1期(2012年3月5日)	8,751		0	△12.5	47.8		48.3	939	
2期(2013年3月5日)	10,339		200	20.4	45.2		46.5	431	
3期(2014年3月5日)	11,184		200	10.1	42.7		47.9	273	
4期(2015年3月5日)	11,506		200	4.7	47.7		47.3	418	

(注) 基準価額および分配金(税込み)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 株式組入比率、債券組入比率はマザーファンドへの投資を通じた実質比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

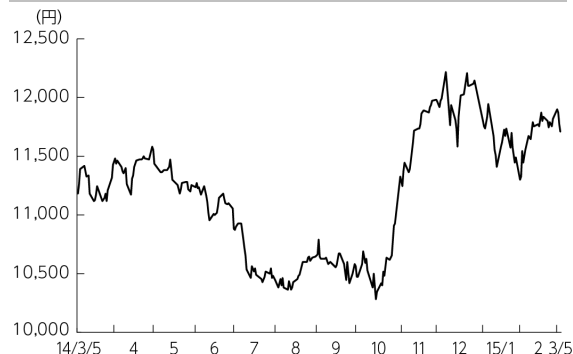
年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比	式 率	債 組 入 比	券 率
		騰 落	率				
(期 首) 2014年3月5日	円 11,184		% —	% 42.7	% 47.9		
3月末	11,315		1.2	42.8	47.0		
4月末	11,578		3.5	44.2	47.0		
5月末	11,253		0.6	45.3	45.2		
6月末	11,050		△1.2	44.3	46.8		
7月末	10,482		△6.3	43.8	46.0		
8月末	10,638		△4.9	46.7	44.6		
9月末	10,580		△5.4	47.8	43.4		
10月末	10,928		△2.3	46.0	44.9		
11月末	11,966		7.0	46.9	49.4		
12月末	12,142		8.6	45.6	44.8		
2015年1月末	11,491		2.7	49.4	47.2		
2月末	11,812		5.6	47.8	48.0		
(期 末) 2015年3月5日	円 11,706		4.7	47.7	47.3		

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税込み)込み、騰落率は期首比です。

## ◎基準価額の推移

基準価額は期首の11,184円から、当期末は11,506円となりました。なお、当期末において200円（税込み）の収益分配を行いましたので、分配金を含めた値上がり額は522円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たり、期末の基準価額は分配金（税込み）込みです。

## ◎基準価額の変動要因

### (主なプラス要因)

- ・主要投資対象の「農業・食糧関連株マザーファンド」において、米国の底堅い個人消費の恩恵を受けて食肉関連企業や、栄養食品企業の株価が上昇したこと。
- ・主要投資対象の「農業・食糧関連株マザーファンド」において、米ドルが対円で上昇したこと。

### (主なマイナス要因)

- ・主要投資対象の「農業・食糧関連株マザーファンド」において、コストの増加などから企業業績が市場予想を下回った製菓企業の株価が下落したこと。
- ・主要投資対象の「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」において、豊作予想からトウモロコシを中心に農作物価格が下落したことを受けて、基準価額が下落したこと。

## ◎投資環境（市況）

当期の世界株式市場は、米国において低金利政策の継続や雇用改善が進展していることに加え、欧州中央銀行（ECB）が2014年6月にマイナス金利を導入するなど、積極的な金融緩和策が好感され上昇しました。10月に

きて、中東の情勢不安やロシアとウクライナの緊張の高まりに加え、世界景気の減速懸念などから調整局面となりました。しかしその後は、米国を中心とした企業業績の底堅さや、2015年1月にECBが量的金融緩和策を決定したことなどを好感して上昇する展開となりました。

商品市況については、豊作観測や需要の後退懸念などから、軟調な展開が続きました。

## ◎ポートフォリオについて

当ファンドは、「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の農業・食糧関連の企業の株式（DR（預託証券）、株式の値動きに価格が連動する債券を含みます。）およびブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に実質的に投資します。

当期においては、農業・食糧関連株マザーファンドおよびアグリカルチャー・インデックスマザーファンドの組入比率をそれぞれ50%程度に維持して運用しました。

## ◎分配金

当ファンドは、毎年3月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

当期の分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準などを勘案し、200円（税込み）とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

## （分配原資の内訳）

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2014年3月6日～ 2015年3月5日
当期分配金	200
（対基準価額比率）	1.709%
当期の収益	196
当期の収益以外	3
翌期繰越分配対象額	1,567

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

主要な投資対象である「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」の組入比率をそれぞれ50%程度に維持して運用する方針です。

## <農業・食糧関連株マザーファンド>

種苗、農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用などの事業等に携わる農業、食糧関連企業の株式に着目し、収益力、財務体質、バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した上で投資を行います。また、株式の組入比率は高位を保つことを基本とします。

## <アグリカルチャー・インデックスマザーファンド>

ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保ち、運用する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年3月6日～2015年3月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 179	% 1.588	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 85)	(0.758)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 85)	(0.754)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 9)	(0.076)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	16	0.142	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 16)	(0.142)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.035	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 4)	(0.035)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	19	0.166	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 16)	(0.144)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 1)	(0.009)	その他は、課税関連事務の委託手数料等
合 計	218	1.931	
期中の平均基準価額は、11,269円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年3月6日～2015年3月5日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	918,149	740,000	804,724	627,000
農業・食糧関連株マザーファンド	441,507	635,000	423,197	726,000

(注) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

○株式売買比率

(2014年3月6日～2015年3月5日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	農業・食糧関連株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,360,838千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	488,701千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.78

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2014年3月6日～2015年3月5日)

利害関係人との取引状況

<農業・食糧関連オープン>

該当事項はございません。

<農業・食糧関連株マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
株式	642	7	1.1	718	2	0.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

<アグリカルチャー・インデックスマザーファンド>

該当事項はございません。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,536千円
うち利害関係人への支払額 (B)	16千円
(B) / (A)	1.1%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2015年3月5日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	162,418	275,843	201,034
農業・食糧関連株マザーファンド	95,393	113,703	204,700

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年3月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	201,034	44.8
農業・食糧関連株マザーファンド	204,700	45.6
コール・ローン等、その他	43,162	9.6
投資信託財産総額	448,896	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 農業・食糧関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(197,782千円)の投資信託財産総額(209,702千円)に対する比率は94.3%です。

(注) 農業・食糧関連株マザーファンドにおける外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお当期末における邦貨換算レートは1米ドル=119.80円、1カナダドル=96.46円、1ユーロ=132.73円、1英ポンド=182.81円、1スイスフラン=124.24円、1ノルウェークローネ=15.38円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年3月5日現在)

項目	当期末
(A) 資産	448,896,254
コール・ローン等	38,161,148
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド(評価額)	201,034,955
農業・食糧関連株マザーファンド(評価額)	204,700,141
未収入金	5,000,000
未収利息	10
(B) 負債	30,388,145
未払収益分配金	7,274,718
未払解約金	14,461,342
未払信託報酬	8,582,085
その他未払費用	70,000
(C) 純資産総額(A-B)	418,508,109
元本	363,735,928
次期繰越損益金	54,772,181
(D) 受益権総口数	363,735,928口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,506円

(注) 運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1,1506円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は244,840,000円、期中追加設定元本額は1,404,020,864円、期中一部解約元本額は1,285,124,936円です。

○損益の状況 (2014年3月6日～2015年3月5日)

項目	当期
(A) 配当等収益	5,871
受取利息	5,871
(B) 有価証券売買損益	36,210,665
売買益	124,508,628
売買損	△ 88,297,963
(C) 信託報酬等	△ 17,116,922
(D) 当期損益金(A+B+C)	19,099,614
(E) 前期繰越損益金	5,367,526
(F) 追加信託差損益金	37,579,759
(配当等相当額)	( 37,769,556)
(売買損益相当額)	(△ 189,797)
(G) 計(D+E+F)	62,046,899
(H) 収益分配金	△ 7,274,718
次期繰越損益金(G+H)	54,772,181
追加信託差損益金	37,579,759
(配当等相当額)	( 39,808,559)
(売買損益相当額)	(△ 2,228,800)
分配準備積立金	17,192,422

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等は消費税等相当額、監査費用を含めて表示しております。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第4期
(a) 配当等収益(費用控除後)	4,807,350円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後)	14,292,264円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	39,808,559円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	5,367,526円
分配対象収益(a+b+c+d)	64,275,699円
分配対象収益(1万口当たり)	1,767円
分配金額	7,274,718円
分配金額(1万口当たり)	200円



用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>分配準備積立金</b>	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	200円
支払開始日	2015年3月11日（水）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

### <お知らせ>

- ・ダウジョーンズUBSアグリカルチャー（農作物）サブ・インデックスからブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスへの名称変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年7月1日）
- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年3月5日現在）

## &lt;アグリカルチャー・インデックスマザーファンド&gt;

下記は、アグリカルチャー・インデックスマザーファンド全体(1,255,100千口)の内容です。

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
普通社債券 (含む投資法人債券)	千円 890,000 (890,000)	千円 900,954 (900,954)	% 98.5 (98.5)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 98.5 (98.5)	
合 計	890,000 (890,000)	900,954 (900,954)	98.5 (98.5)	— (—)	— (—)	— (—)	98.5 (98.5)	

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) BB格以下組入比率は、S &amp; PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) ー印は組み入れがありません。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
UBS-AGRICULTURE 20151130	3.5	520,000	526,292	2015/11/30
SG-AGRICULTURE 20151130	3.5	370,000	374,662	2015/11/30
合 計		890,000	900,954	

(注) UBS-AGRICULTURE 20151130は、スイスのユービーエス・エージーのロンドン支店(UBS AG, London Branch)発行のユーロ円建て債券です。

(注) SG-AGRICULTURE 20151130は、ルクセンブルクのエスジー・イシューアー(SG Issuer)発行のユーロ円建て債券です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

農業・食糧関連株マザーファンド  
第4期 運用状況のご報告  
決算日：2015年3月5日

「農業・食糧関連株マザーファンド」は、2015年3月5日に第4期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む世界の取引所上場の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の取引所上場の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
(設定日) 2011年3月31日	10,000	—	—	—	百万円 1,700
1期(2012年3月5日)	9,208	△ 7.9	97.2	—	462
2期(2013年3月5日)	11,851	28.7	95.9	—	203
3期(2014年3月5日)	13,941	17.6	87.9	—	132
4期(2015年3月5日)	18,003	29.1	97.6	—	204

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は、当初設定元本総額です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

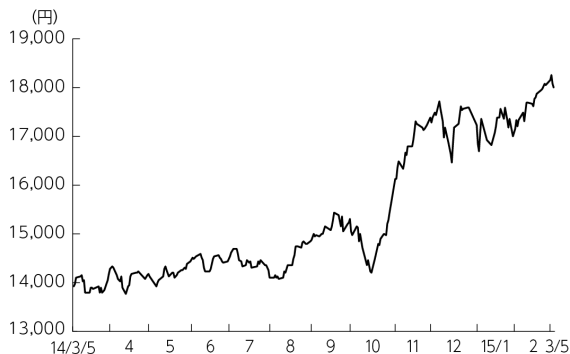
年	月	日	基 準	価 額		株 組 入 比	式 率	株 先 物 比	式 率
				騰 落	率				
	(期 首)		円		%		%		%
	2014年	3月	13,941	—	—		87.9		—
		3月末	14,047		0.8		88.3		—
		4月末	14,155		1.5		93.1		—
		5月末	14,391		3.2		91.5		—
		6月末	14,432		3.5		91.6		—
		7月末	14,272		2.4		92.1		—
		8月末	14,799		6.2		96.1		—
		9月末	15,237		9.3		95.6		—
		10月末	15,449		10.8		92.8		—
		11月末	17,238		23.6		93.3		—
		12月末	17,583		26.1		93.1		—
	2015年	1月末	17,365		24.6		97.2		—
		2月末	18,038		29.4		97.4		—
	(期 末)								
	2015年	3月	18,003		29.1		97.6		—

(注) 騰落率は期首比です。

## ◎基準価額の推移

基準価額は期首の13,941円から、当期末は18,003円となり、4,062円の値上がりとなりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たりです。

## ◎基準価額の変動要因

### (主なプラス要因)

- 当期における主なプラス要因は、以下の通りです。
- ・米国の底堅い個人消費の恩恵を受けて食肉関連企業や、栄養食品企業の株価が上昇したこと。
- ・中国などの新興国において肥料需要が予想を上回ったことから、肥料関連企業の株価が上昇したこと。
- ・為替市場において、米ドルが対円で上昇したこと。

### (主なマイナス要因)

- 当期における主なマイナス要因は、以下の通りです。
- ・コストの増加などから企業業績が市場予想を下回った製菓企業の株価が下落したこと。
- ・ウクライナとロシア情勢の緊迫化により、ロシア向けの輸出が禁止されたことから、乳製品などの欧州の加工食品企業の売上が低下し、株価が低迷したこと。

## ◎投資環境 (市況)

当期の世界株式市場は、米国において低金利政策の継続や雇用改善が進展していることに加え、欧州中央銀行(ECB)が2014年6月にマイナス金利を導入するなど、積極的な金融緩和策が好感され上昇しました。10月に

けて、中東の情勢不安やロシアとウクライナの緊張の高まりに加え、世界景気の減速懸念などから調整局面となりました。しかしその後は、米国を中心とした企業業績の底堅さや、2015年1月にECBが量的金融緩和策を決定したことなどを好感して上昇する展開となりました。

## ◎ポートフォリオについて

当ファンドは、日本を含む世界の取引所上場の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。種苗、農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用などの事業等に携わる農業、食糧関連企業の株式に着目し、収益力、財務体質、バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した投資を行います。また、株式の組入比率は高位を保つことを基本とします。

当期につきましては、農作物価格の低迷が懸念されたことから、肥料や種苗関連企業の組入比率を抑える一方、業績が安定的に拡大している食品関連企業の組入比率を高めて運用しました。また、国別では、米国の個人消費が底堅いことから、米国のウェイトを高位に維持しました。組入比率については、期首より高位の組入比率を維持し、概ね85%~98%で推移させました。

## ◎今後の運用方針

今後の運用方針としては、種苗、農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用などの事業等に携わる農業、食糧関連企業の株式に着目し、収益力、財務体質、バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した投資を行う方針です。

足元においては、米国の個人消費が底堅いことから、食の安全性に配慮をしている加工食品企業や、付加価値の高い食料品企業を中心としたポートフォリオを構築する方針です。また安定した売上が期待できる種苗や肥料関連企業については、タイミングを見極め、組入比率を引き上げます。中長期的には、世界人口の増加と新興国経済の成長に起因する構造的な食糧需要の増大を背景として、当ファンドが投資対象とする種苗・農業化学や農業関連設備、食品・飲料製造などに関連する企業の事業環境は良好に推移し、業績の伸長が見込めると判断し、株式の組入比率は高位を保つ方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年3月6日～2015年3月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 45 (45)	% 0.289 (0.289)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	11 (11)	0.071 (0.071)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	43 (40) ( 3 )	0.274 (0.256) (0.019)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、課税関連事務の委託手数料等
合 計	99	0.634	
期中の平均基準価額は、15,583円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年3月6日～2015年3月5日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 5	千円 7,927	千株 7	千円 22,757
外国	アメリカ	百株 736 ( 12)	千米ドル 4,142 ( -)	百株 704	千米ドル 4,198
	カナダ	30	千カナダドル 298	20	千カナダドル 225
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	67	364	57	312
	アイルランド	34	192	21	116
	スイス	60	千スイスフラン 730	65	千スイスフラン 743
ノルウェー	181	千ノルウェークローネ 1,283	149 ( -)	千ノルウェークローネ 1,452 ( 27)	

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切り捨てです。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2014年3月6日～2015年3月5日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,360,838千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	488,701千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.78

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。



○利害関係人との取引状況等

(2014年3月6日～2015年3月5日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
株式	642	7	1.1	718	2	0.3

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,536千円
うち利害関係人への支払額 (B)	16千円
(B) / (A)	1.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2015年3月5日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
食料品 (100.0%)	千株	千株	千株	千円
カルビー	2.8	—	—	—
味の素	4	4	4	9,498
合 計	株 数 ・ 金 額	6	4	9,498
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	1	< 4.6% >

(注) 業種・銘柄欄の( )内は、当期末の国内株式の評価総額に対する各業種の割合です。

(注) 合計欄の( )内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 株数及び評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 一印は組み入れがありません。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	15	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
CUMMINS INC	5	—	—	—	資本財	
FMC CORP	7	—	—	—	素材	
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	7	10	121	14,522	素材	
KROGER CO	14	13	90	10,847	食品・生活必需品小売り	
HERSHEY CO/THE	7	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
MONSANTO CO	7	10	119	14,359	素材	
MOSAIC CO/THE	—	22	114	13,678	素材	
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	1	—	—	—	素材	
BUNGE LTD	8	5	41	4,912	食品・飲料・タバコ	
HORMEL FOODS CORP	12	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
PEPSICO INC	8	12	116	13,996	食品・飲料・タバコ	
TYSON FOODS INC-CL A	10	32	132	15,871	食品・飲料・タバコ	
MEAD JOHNSON NUTRITION CO	—	6	61	7,392	食品・飲料・タバコ	
WHITEWAVE FOODS CO	—	13	55	6,615	食品・飲料・タバコ	
KEURIG GREEN MOUNTAIN INC	6	5	64	7,702	食品・飲料・タバコ	
KRAFT FOODS GROUP INC	—	3	18	2,270	食品・飲料・タバコ	
J & J SNACK FOODS CORP	5	8	80	9,613	食品・飲料・タバコ	
HAIN CELESTIAL GROUP INC	4	17	106	12,782	食品・飲料・タバコ	
UNITED NATURAL FOODS INC	—	10	81	9,791	食品・生活必需品小売り	
WHOLE FOODS MARKET INC	6	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
小計	株数・金額	122	166	1,204	144,357	
	銘柄数<比率>	16	14	—	<70.5%>	
(カナダ)				千カナダドル		
AGRIUM INC	—	10	139	13,491	素材	
小計	株数・金額	—	10	139	13,491	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<6.6%>	
(ユーロ…フランス)				千ユーロ		
DANONE	—	9	59	7,901	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	—	9	59	7,901	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<3.9%>	
(ユーロ…アイルランド)						
KERRY GROUP PLC-A	—	13	84	11,209	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	—	13	84	11,209	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<5.5%>	
ユーロ計	株数・金額	—	23	143	19,110	
	銘柄数<比率>	—	2	—	<9.3%>	
(スイス)				千スイスフラン		
ARYZTA AG	9	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
NESTLE SA-REG	5	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
NESTLE SA-REG	—	9	69	8,618	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	14	9	69	8,618	
	銘柄数<比率>	2	1	—	<4.2%>	
(ノルウェー)				千ノルウェークローネ		
MARINE HARVEST	—	32	308	4,751	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	—	32	308	4,751	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<2.3%>	
合計	株数・金額	136	240	—	190,330	
	銘柄数<比率>	18	19	—	<93.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の( )内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 一印は組み入れがありません。

(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

○投資信託財産の構成

(2015年3月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 199,828	% 95.3
コール・ローン等、その他	9,874	4.7
投資信託財産総額	209,702	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産(197,782千円)の投資信託財産総額(209,702千円)に対する比率は94.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお当期末における邦貨換算レートは1米ドル=119.80円、1カナダドル=96.46円、1ユーロ=132.73円、1英ポンド=182.81円、1スイスフラン=124.24円、1ノルウェークローネ=15.38円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年3月5日現在)

○損益の状況 (2014年3月6日～2015年3月5日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	213,289,986
コール・ローン等	3,416,701
株式(評価額)	199,828,729
未収入金	9,866,006
未収配当金	178,550
(B) 負債	8,593,700
未払金	3,593,700
未払解約金	5,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	204,696,286
元本	113,703,350
次期繰越損益金	90,992,936
(D) 受益権総口数	113,703,350口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,003円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	8,173,773
受取配当金	8,164,181
受取利息	9,592
(B) 有価証券売買損益	156,049,975
売買益	180,285,786
売買損	△ 24,235,811
(C) 保管費用等	△ 1,514,912
(D) 当期損益金(A+B+C)	162,708,836
(E) 前期繰越損益金	37,593,923
(F) 追加信託差損益金	193,492,748
(G) 解約差損益金	△302,802,571
(H) 計(D+E+F+G)	90,992,936
次期繰越損益金(H)	90,992,936

(注) 当ファンドは監査対象ではありません。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1,8003円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は95,393,527円、期中追加設定元本額は441,507,252円、期中一部解約元本額は423,197,429円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、農業・食糧関連オープン113,703,350円です。

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2014年12月1日)

## アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

### 第7期 運用状況のご報告

決算日：平成26年10月15日

「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」は、平成26年10月15日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とし、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。 ※当ファンドでは、「Bloomberg Agriculture Index」を「ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス」といいます。
主要投資対象	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合は、取得時において、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

#### ◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ・アグリカルチャー （農作物）インデックス		為替レート（ドル/円）		債券組入 比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率	（参考指数） ポイント	期中 騰落率	円	期中 騰落率		
第3期 平成22年10月15日	6,862	15.6	78.913	27.5	81.57	△ 9.0	98.1	1,549
第4期 平成23年10月17日	6,654	△ 3.0	81.787	3.6	77.29	△ 5.2	97.5	2,645
第5期 平成24年10月15日	7,166	7.7	87.006	6.4	78.39	1.4	98.5	1,432
第6期 平成25年10月15日	7,562	5.5	73.180	△15.9	98.58	25.8	98.9	1,003
第7期 平成26年10月15日	7,153	△ 5.4	63.923	△12.6	107.29	8.8	95.9	1,487

(注)1.基準価額は1万円当たりです。

2.「ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス」は、当該日前営業日の現地終値です。同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

3.「為替レート（ドル/円）」は、当日の東京の対顧客電信売買相場の仲値です。

◎当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグ・アグリカルチャー (農作物)インデックス		為替レート (ドル/円)		債券組入 比率
	円	騰落率 %	(参考指数) ポイント	騰落率 %	円	騰落率 %	
(期首)							
平成25年10月15日	7,562	—	73.180	—	98.58	—	98.9
10月 末	7,353	△ 2.8	71.674	△ 2.1	98.51	△ 0.1	97.9
11月 末	7,521	△ 0.5	70.732	△ 3.3	102.42	3.9	98.8
12月 末	7,665	1.4	70.116	△ 4.2	105.39	6.9	98.4
平成26年 1月 末	7,280	△ 3.7	68.117	△ 6.9	102.86	4.3	96.9
2月 末	8,049	6.4	76.068	3.9	101.94	3.4	98.5
3月 末	8,515	12.6	80.065	9.4	102.92	4.4	97.5
4月 末	8,860	17.2	83.763	14.5	102.61	4.1	95.8
5月 末	8,231	8.8	78.118	6.7	101.66	3.1	96.5
6月 末	7,915	4.7	75.262	2.8	101.36	2.8	96.9
7月 末	7,173	△ 5.1	66.948	△ 8.5	102.85	4.3	96.5
8月 末	7,151	△ 5.4	66.165	△ 9.6	103.74	5.2	95.3
9月 末	6,869	△ 9.2	60.133	△17.8	109.45	11.0	96.8
(期末)							
平成26年10月15日	7,153	△ 5.4	63.923	△12.6	107.29	8.8	95.9

(注) 騰落率は期首比です。

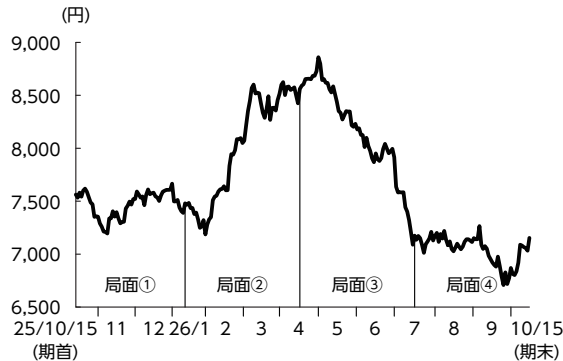
**第7期** (平成25年10月16日～平成26年10月15日)

**基準価額の変動要因**

**1. 基準価額の推移**

基準価額は、前期末の7,562円から当期末には7,153円となり、期中の値下がり額は409円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万口当たりです。

**[市況要因]**

**局面①【期首～平成26年1月15日】**

**米国の豊作による需給緩和から軟調**

1. 期首から平成25年12月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、最大の穀物輸出国である米国が豊作となったことを受けて、世界的に需給緩和と観測が強まり、軟調に推移しました。個別商品の動きとしては、トウモロコシは米国の生産高が過去最高を更新するとの見方が強まったことに加え、米国政府がエタノールの義務的使用量を緩和すると観測が下落要因となり、軟調に推移しました。大豆は、米国の豊作観測が下落要因になる一方、中国向けを中心とした好調な輸出が下値を支える要因となり、底堅い動きとなりました。

12月下旬から翌平成26年1月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国の生産高が概ね固まるなか、豊作による需給緩和と観測が一段と強まり、下落基調が続きました。個別商品の動きとしては、トウモロコシは中国の港湾において米国産から未承認の遺伝子組み換え品種が検出されたことなどからじり安の展開となりました。しかし、1月の需給報告において期末在庫見通しが引き下げられる

と反発しました。大豆は、ブラジルやアルゼンチンの豊作観測から下落したものの、その後は中国向けの大口輸出成約が相次いで報告されたことから反発するなど一進一退の動きとなりました。

2. この間の為替相場は、米金融当局が量的金融緩和策の段階的な縮小を決定したことなどからドルが対円で上昇し、ドル/円は期首の1ドル=98.58円から1月15日には104.16円をつけました。

※この間、基準価額は1.1%の下落となりました。

**局面②【平成26年1月16日～平成26年4月15日】**

**米国産の好調な輸出やブラジルの干ばつによる不作観測から急反発**

1. 1月下旬から3月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、ブラジルの産地が干ばつに見舞われたことを受けて、作柄悪化観測が強まり、同国の主要農作物であるコーヒーや砂糖、大豆などを中心に急伸する動きとなりました。個別商品の動きでは、トウモロコシは2月上旬にかけて複数の大口輸出成約が報告されたことが好感されたほか、主要な輸出国であるウクライナの政情悪化も供給不安から上昇要因となり、堅調に推移しました。大豆は、ブラジルの産地で高温・乾燥状態が続き作柄悪化観測が強まったことに加え、輸入国が調達先を南米から米国にシフトさせる動きを活発化させたことから急伸する動きとなりました。コーヒーは、最大の生産国であるブラジルの産地の干ばつを受けて、減産による需給逼迫観測が台頭し、急騰する展開となりました。

3月下旬から4月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国で穀物などの作付けシーズンを迎え、産地の天候などを睨んでもみ合う動きとなりました。個別商品の動きでは、トウモロコシは米国の四半期在庫統計や作付面積意向調査の結果が市場予想を下回ったことなどが買い材料となり、じり高の展開となりました。大豆は、南米産の不作観測が強まったことに加え、4月の需給報告において米国産の輸出需要見通しが引き上げられたことなどから一段高となりました。コーヒーは、干ばつに見舞われていたブラジルの産地で散発的な降雨が確認されたことを受

けて、作柄改善観測から3月末にかけて急落しました。しかし、その後は同地域が再び干ばつとなったことを受けて、大幅減産は避けられないとの見方から急反発するなど値動きの荒い展開となりました。

- 2.この間の為替相場は、新興国経済の先行き不透明感が強まったことや、ウクライナ情勢の緊迫化などを背景にドルが対円で下落する展開となり、4月15日には1ドル=101.88円となりました。

※この間、基準価額は14.5%の上昇となりました。

### 局面③【平成26年4月16日～平成26年7月15日】 米国中西部地域の好天による豊作観測から軟調

- 1.5月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国産穀物の好調な輸出や、産地の悪天候を背景とした作付け作業の遅れが上昇要因になる一方、米農務省の需給報告においてトウモロコシなどの生産高見通しが引き上げられたことが下落要因になり、一進一退の動きとなりました。個別商品の動きとしては、小麦は主産地である米カンザス州の天候不順や、ウクライナ情勢の緊迫化を背景とした黒海沿岸産の供給不安などが買い材料となり、堅調に推移しました。

5月下旬から7月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国中西部地域において農作物の生育に適した天候が続いたことを受けて、豊作観測が強まり、急落する展開となりました。個別商品の動きとしては、トウモロコシは主産地である米国中西部地域において理想的な天候が続いたことを受けて、豊作による需給緩和観測が台頭し、軟調に推移しました。また、米国におけるトウモロコシの作付面積が3月時点の予想値から引き上げられたことなども、相場の下落要因となりました。

- 2.この間の為替相場は、強弱感が交錯する中、狭い範囲でもみ合う動きとなり、ドル/円は7月15日に101.65円となりました。

※この間、基準価額は16.2%の下落となりました。

### 局面④【平成26年7月16日～期末】

#### 米国産の記録的な豊作観測が強まる中、一段安の動き

- 1.7月下旬から9月中旬にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国産穀物の好調な輸出などから下げ渋る場面がみられたものの、その後は米国のトウモロコシと大豆の生産高が過去最高を記録するとの見通しが強まったことから下落する展開となりました。個別商品の動きでは、トウモロコシは米農務省が生産高見通しを引き上げる中、記録的な豊作になるとの観測が強まったことから下落し、およそ4年ぶりの安値を付けました。また、砂糖は国際砂糖機関（ISO）が2014/2015年度の世界砂糖需給が供給超過になるとの見通しを示したことに加え、インドの降水量不足によるサトウキビの作柄への影響が限定的との見方が強まったことから、軟調に推移しました。

9月下旬から期末にかけてのアグリカルチャー（農作物）市場は、米国において穀物の収穫作業が進められる中、新穀の供給開始による需給緩和観測から下落したものの、その後は産地の天候悪化による作柄悪化懸念から上昇するなど、一進一退の動きとなりました。個別商品の動きでは、大豆は産地の好天を背景に生産高見通しが一段と引き上げられるとの観測や、ドル高の進行による米国産の輸出競争力の低下懸念から、9月中は軟調に推移しました。しかし10月に入ると、米国中西部地域で天候不順が続くとの予報を受けて、収穫作業の遅れや降霜などによる作柄悪化懸念が台頭し、反発しました。

- 2.この間の為替相場は、日米の金融政策スタンスのギャップを背景にドルが対円で上昇する展開となり、期末には1ドル=107.29円を付けました。

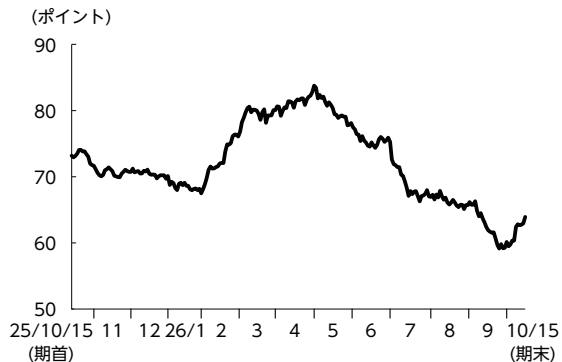
※この間、基準価額は0.3%の下落となりました。

## 2. 参考指数との比較

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス\*の当期中の騰落率は12.6%の下落、米ドル/円は8.8%の上昇（円安）となったのに対し、当ファンドの基準価額は5.4%の下落となりました。

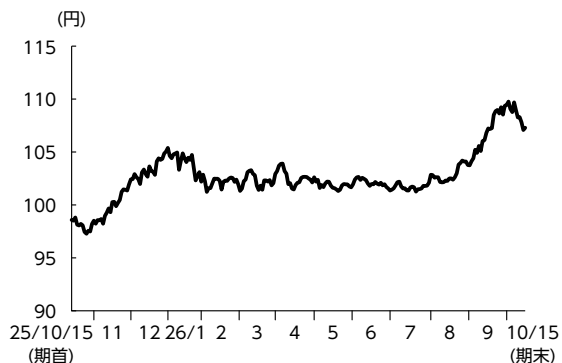
※ダウジョーンズUBSアグリカルチャー（農作物）サブ・インデックスは、平成26年7月1日より、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスに名称が変更となりました。

### ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの推移



(注)ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。

### 為替レート（ドル/円）の推移



(注)為替レート（ドル/円）は、当日の東京の対顧客電信売買相場の仲値です。



## 運用経過

### 【組入比率】

ユーロ円建て債券の組入比率は高位を維持し、期末の組入比率は95.9%となっております。

### 【当期の運用状況】

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。当期は、期中にユーロ円建て債券の入替えを行いました。期末現在では、UBS AG, London Branch（ユービーエス・エージー、ロンドン支店）発行の債券とSG Issuer（エスジー・イシューア）発行の債券を保有しており、組入比率はそれぞれ50.0%と45.9%です。

## 今後の運用方針

### 【投資環境の見通し】

今後のアグリカルチャー（農作物）市場につきましては、当面は上値の重い展開が続くと考えます。最大の穀物生産国である米国の今年の収穫量が過去最高を記録するとの見方が強まる中、世界の飼料用穀物の需給は緩和と考えられます。また、足元で原油価格が下落傾向にあり、バイオエタノールなど代替燃料の需要が鈍化すると考えられることも、相場の上値を抑える要因になると考えます。

しかし、中長期的には世界人口の増加に伴って食糧需要は増加傾向を辿るとみられることに加え、新興国の経済発展に伴う食生活の変化を背景に飼料需要の増加も見込まれることから、農作物の需給緩和は一時的に留まると考えます。また、世界の耕作可能面積には限りがあることに加え、地球温暖化などの影響により世界各地で異常気象が発生していることを考慮すると、徐々に需給は引き締まっていくと考えられ、価格は上昇基調を辿ると予想します。

### 【運用方針】

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

◎ 1 万口 (元本10,000円) 当たりの費用の明細

項目	当期
(a) 保管費用等	3円
合計	3円

- (注) 1. 費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。  
 (a) 保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。  
 2. 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◎ 売買状況

○ 公社債

決算期	第7期 (平成25年10月16日～平成26年10月15日)	
	買付額	売付額
国内	千円	千円
普通社債券 (含む投資法人債券)	1,664,994	1,077,501

- (注) 1. 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)  
 2. 単位未満は切り捨てです。  
 3. 普通社債券 (含む投資法人債券) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

◎ 主要な売買銘柄

○ 公社債

第7期 (平成25年10月16日～平成26年10月15日)			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
UBS-AGRICULTURE 20141128	863,248	UBS-AGRICULTURE 20131129	489,887
SG-AGRICULTURE 20141128	801,746	BARC-AGRICULTURE 20131129	476,944
		UBS-AGRICULTURE 20141128	55,707
		SG-AGRICULTURE 20141128	54,963

- (注) 1. 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)  
 2. 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等

○期中の利害関係人との取引状況

決算期	第7期(平成25年10月16日～平成26年10月15日)					
	買付額等 A	うち利害関係人と の取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人と の取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	1,664	—	—	1,077	—	—

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

○売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率  
該当事項はありません。

◎組入有価証券明細表

○国内(邦貨建)公社債

(A) 種類別開示

決算期	当期末(平成26年10月15日現在)						
	額面金額	評価額	組入比率	内B B格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
					%	%	%
普通社債券(含む投資法人債券)	1,460,000	1,426,148	95.9	—	—	—	95.9
合計	1,460,000	1,426,148	95.9	—	—	—	95.9

- (注) 1. 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。  
 2. 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。  
 3. BB格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。  
 4. —印は組み入れがありません。

(B) 銘柄別開示

決算期	当期末(平成26年10月15日現在)						
	銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日	S & P	Moody's
		%	千円	千円			
普通社債券(含む投資法人債券)							
UBS-AGRICULTURE 20141128		3.500	760,000	743,508	2014/11/28	A	A2
SG-AGRICULTURE 20141128		3.500	700,000	682,640	2014/11/28	A	A2
合計			千円	千円			
			1,460,000	1,426,148			

- (注) 1. UBS-AGRICULTURE 20141128は、スイスのユービーエス・エージーのロンドン支店(UBS AG, London Branch)発行のユーロ円建て債券です。  
 2. SG-AGRICULTURE 20141128は、ルクセンブルクのエスジー・イシューア (SG Issuer) 発行のユーロ円建て債券です。格付けは親会社の格付けを記載しております。  
 3. 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

◎投資信託財産の構成

当期末：平成26年10月15日現在

項目	前期末		当期末	
	評価額	比率	評価額	比率
公 社 債	991,905 千円	98.9 %	1,426,148 千円	95.9 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	11,193	1.1	61,648	4.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,003,098	100.0	1,487,796	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

当期末：平成26年10月15日現在

項目	前期末	当期末
	金額(円)	金額(円)
(A) 資産	1,003,098,396	1,487,796,348
コール・ローン等	10,635,123	60,808,391
公社債(評価額)	991,905,200	1,426,148,000
未収利息	558,073	839,957
(B) 純資産総額(A)	1,003,098,396	1,487,796,348
元本	1,326,581,062	2,080,024,631
次期繰越増益金	△ 323,482,666	△ 592,228,283
(C) 受益権総口数	1,326,581,062口	2,080,024,631口
1万口当たり基準価額(B/C)	7,562円	7,153円

◎損益の状況

当期：自 平成25年10月16日 至 平成26年10月15日

項目	前期	当期
	金額(円)	金額(円)
(A) 配当等収益	41,128,672	36,388,963
受取利息	41,128,672	36,388,963
(B) 有価証券売買損益	52,120,200	△153,251,045
売買益	56,817,400	7,298,000
売買損	△ 4,697,200	△160,549,045
(C) 信託報酬等	△ 437,308	△ 439,966
(D) 当期損益金	92,811,564	△117,302,048
(A + B + C)		
(E) 前期繰越増益金	△566,365,888	△323,482,666
(F) 追加信託差損益金	△ 10,023,893	△204,019,912
(G) 解約差損益金	160,095,551	52,576,343
(H) 計(D + E + F + G)	△323,482,666	△592,228,283
次期繰越増益金(H)	△323,482,666	△592,228,283

- (注) 1. 当ファンドは監査対象ではありません。  
 2. 計算期間末における1口当たり純資産額は0.7153円です。  
 3. 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は592,228,283円です。  
 4. 当ファンドの期首元本額は1,326,581,062円、期中追加設定元本額は1,009,019,912円、期中一部解約元本額は255,576,343円です。  
 5. 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、コモディティ・セレクション(食糧)1,011,296,313円、農業・食糧関連オープン1,068,728,318円です。

- (注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等の金額は保管費用等です。なお、当ファンドには信託報酬はありません。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈約款変更のお知らせ〉

ダウジョーンズUBSアグリカルチャー(農作物)サブ・インデックスからブルームバーグ・アグリカルチャー(農作物)インデックスへの名称変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：平成26年7月1日)